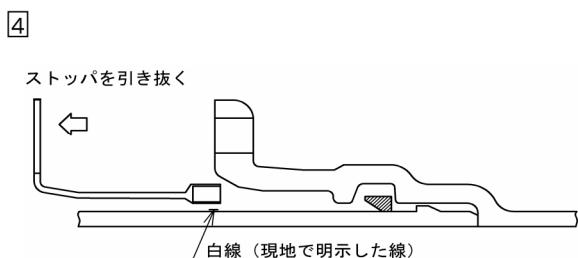
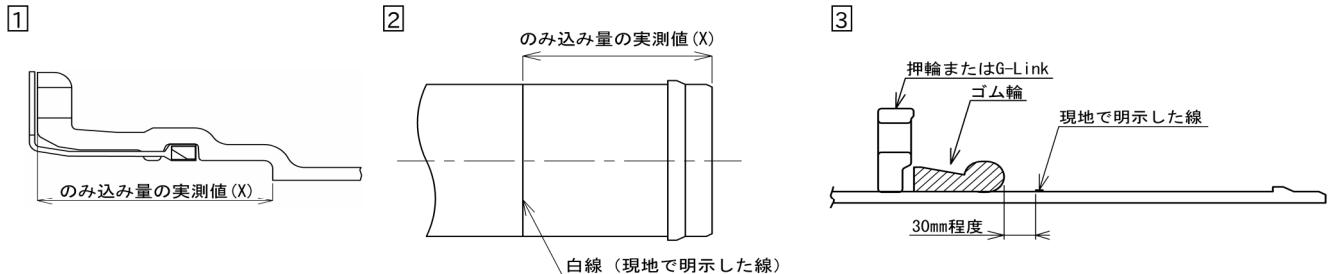


GX形継手 チェックシート(異形管・G-Link)

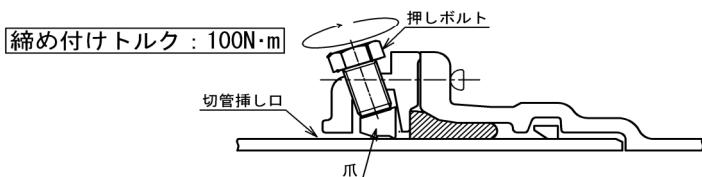
年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

		配管工



⑥ G-Linkを使用する場合

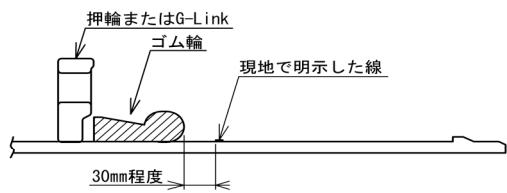


管 No.							
管の種類							
略図							
継手 No.							
挿し口突部の有無 ^{注)}							
清掃・異物の除去							
ロックリング、ストッパーの確認							
挿し口の挿入量の明示							
爪、押ボルトの確認(G-Link)							
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認							
滑剤							
ストッパーの引き抜き							
抜け出しチェック(挿し口突部有り) ^{※2}							
T頭ボルト	本数						
受口端面～施工管理用突部の隙間 ^{※1}	箇所数						
	隙間ゲージ確認						
押しボルト	本数						
	トルク確認						
判定	定						
備考							

判定基準 ^{※1}受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。^{※2}挿し口を異形管受口に挿入し、ストッパーを取り外した後、挿し口を上下左右前後に振って抜けないことを確認する。

注)挿し口突部のない挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

		配管工



1 [2]

[3]

[4]

[5]

[5]

[6]

[]